

除草剤 芝用

 **フルハウス®**  
ターフフロアブル

一年生イネ科雑草に対する  
高い防除効果

登録商標 第4191381号



# メヒシバ、スズメノカタビラなど 悩める雑草に、キメの一手

## 特長

- メヒシバ、スズメノカタビラなど一年生イネ科雑草に卓効を示す土壌処理剤です
- 実際の使用場面や社内試験から120日以上安定した残効性が認められています
- 水に溶けにくく、土壌吸着性が極めて強いので、土壌中での移動が少なく、地下水や河川など環境への流出が少ない除草剤です
- 完成された日本芝の萌芽期～生育期・終期まで幅広い時期で使用できます（寒冷地型芝草には薬害の恐れがあるので使用しないで下さい）
- 人畜及び水産動物に対する毒性が低いので安心して使用できます
- 緑化樹木の周辺で安心して使用できます

## 殺草スペクトラム

日植調査委託試験および社内試験から抜粋

<殺草効果(評価)>

- : 極大(残草量0%) ◎: 極大(1~5%)
- : 大(6~10%) □: 中(11~30%)
- △: 小(31~50%) ×: 極小(51%以上)

雑草名	薬量 (mL/㎡)	0.075	0.1	0.15
メヒシバ		●	●	●
オヒシバ		●	●	●
スズメノカタビラ		●	●	●
アキメヒシバ		◎	◎~●	◎~●
エノコログサ		○	○	○
ヒメコバンソウ		●	●	●
スズメノテッポウ		●	●	●

## メヒシバに対する効果

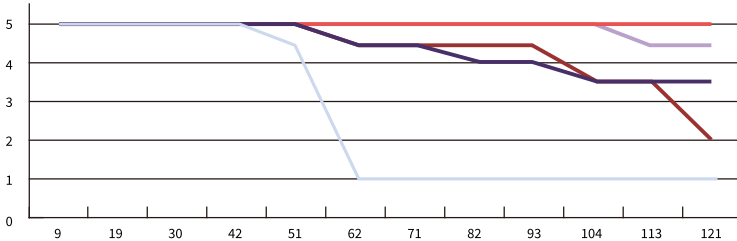
### 圃場試験の結果

試験場所: バイエルクロップサイエンス結城中央研究所 品種: コウライシバ

薬剤名	薬量 (g,mL/㎡)	散布水量 (mL/㎡)	3月8日散布、8月4日調査 (散布149日後)		4月7日散布8月4日調査 (散布119日後)	
			メヒシバ	アキメヒシバ	メヒシバ	アキメヒシバ
フルハウスターフフロアブル	0.1	200	◎	●	●	●
A剤	0.15	200	□	□	◎	●
B剤	0.5	200	□	□	□	×

●: 無処理区に対し、残草量が0%、◎: 1-5%、○: 6-10%、□: 11-30%、△: 31-50%、×: 51%以上

【バイエルクロップサイエンス社内試験】



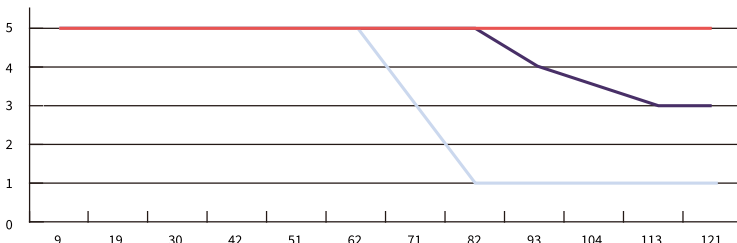
- フルハウスターフフロアブル 0.075mL/㎡
- フルハウスターフフロアブル 0.1mL/㎡
- A剤 0.1g/㎡
- A剤 0.1mL/㎡
- B剤 0.4mL/㎡

※ 評価基準: 5 (発芽なしor完全枯死)、4 (発芽したが強く抑制)、3 (発芽したがやや抑制)、2 (発芽したが僅かに抑制)、-: 判定不能 (藻、苔の影響)

※ 表中のDAA (Day after application) は薬剤処理後、何日で播種したかを表す。

## スズメノカタビラに対する効果

【バイエルクロップサイエンス社内試験 (ポット試験)】



- フルハウスターフフロアブル 0.075mL/㎡
- フルハウスターフフロアブル 0.1mL/㎡
- A剤 0.1g/㎡
- A剤 0.1mL/㎡
- B剤 0.4mL/㎡

※ 評価基準: 5 (発芽なしor完全枯死)、4 (発芽したが強く抑制)、3 (発芽したがやや抑制)、2 (発芽したが僅かに抑制)、-: 判定不能 (藻、苔の影響)

※ 表中のDAA (Day after application) は薬剤処理後、何日で播種したかを表す。

# 除草剤 芝用

農林水産省登録 第24681号

## 日本芝に対する影響

萌芽期前処理：3月18日処理

試験場所：中国ゴルフ連盟 グリーン研究所 品種：コウライシバ 土壌条件：砂壤土

	葉量 (mL/ m <sup>2</sup> )	散布水量 (mL/ m <sup>2</sup> )	調査日				
			3月25日	4月15日	5月13日	6月10日	7月20日
			7日後	28日後	56日後	84日後	127日後
フルハウスターフフロアブル	0.2	200	なし	なし	なし	なし	なし
	0.4	400	なし	なし	なし	なし	なし
無処理区			なし	なし	なし	なし	なし

萌芽期処理：4月15日処理

	葉量 (mL/ m <sup>2</sup> )	散布水量 (mL/ m <sup>2</sup> )	調査日				
			4月22日	5月13日	6月10日	7月23日	8月21日
			7日後	28日後	56日後	99日後	128日後
フルハウスターフフロアブル	0.2	200	なし	なし	なし	なし	なし
	0.4	400	なし	なし	なし	なし	なし
無処理区			なし	なし	なし	なし	なし

生育期処理：5月13日処理

	葉量 (mL/ m <sup>2</sup> )	散布水量 (mL/ m <sup>2</sup> )	調査日				
			5月20日	6月10日	7月23日	8月21日	9月16日
			7日後	28日後	56日後	100日後	126日後
フルハウスターフフロアブル	0.2	200	なし	なし	なし	なし	なし
	0.4	400	なし	なし	なし	なし	なし
無処理区			なし	なし	なし	なし	なし

登録の中間葉量 (0.1mL/m<sup>2</sup>) の2倍量、4倍量処理ともにコウライシバの萌芽前、萌芽期、生育期の処理においてその生育に影響を与えることはない判断される

## 連用処理による日本芝に対する影響

試験場所：(財)西日本グリーン研究所 品種：コウライシバ 土壌条件：花崗岩・砂壤土 処理時期：芝生育期

	葉量 (mL/ m <sup>2</sup> )	散布水量 (mL/ m <sup>2</sup> )	処理年月日	調査(平成10年10月9日～平成12年4月までの調査)			
				薬害 症状と薬害の程度	生育調査		
					草丈	重量	根圏
フルハウスターフフロアブル	0.2	250	平成10年10月8日 平成11年4月5日 平成11年10月1日	なし	影響なし	影響なし	影響なし

登録の中間葉量 (0.1mL/m<sup>2</sup>) の倍量の連用処理3回目における芝草への薬害は何ら認められなかった。

## 環境中の移動性

フルハウスターフフロアブルは、使用薬量(成分量)が少ない上、水に溶けにくく、また土壌吸着性が極めて強い  
ため地下水や河川への流出が少ないと考えられます

### ゴルフ場周辺水系調査

試験場所(薬剤処理日)：

埼玉県Aゴルフ場(1997年4月1日)

広島県Bゴルフ場(1997年4月14日)

使用薬量：0.15mL/m<sup>2</sup>、水量200mL/m<sup>2</sup>

ゴルフ場	採取場所	散布前濃度 (ppb)	降雨後濃度 (ppb)	1ヶ月後濃度 (ppb)	2ヶ月後濃度 (ppb)	3ヶ月後濃度 (ppb)
埼玉県 A ゴルフ場	採取日	1997/4/1	1997/4/7	1997/5/2	1997/6/2	
	降雨量		4/6 2.0mm	202mm/月	24.5mm/月	
	8番ホール調整池	nd	nd	nd	nd	
広島県 B ゴルフ場	採取日	1997/4/14	1997/4/25	1997/5/10	1997/6/13	1997/7/7
	降雨量		4/21 22.5mm	185mm/月	181mm/月	365mm/月
	7番ホール調整池	nd	nd	nd	nd	nd
	3番ホール調整池	nd	nd	nd	nd	nd

※ nd は検出限界以下を示す。

適用と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
日本芝	一年生イネ科雑草	雑草発生前(芝生育期)	75~150 mL/10a	200~300 L/10a	2回以内	全面土壌散布	2回以内

有効成分と性状

種類名	オキサジクロメホン水和剤
商品名	フルハウスフロアブル
有効成分	オキサジクロメホン(化管法1種)……30.0%
性状	類白色水和性粘稠懸濁液体
荷姿	500mL×2本

人畜・魚介類に対する安全性製剤)

人畜毒性	経口	ラット(♂♀)	LD <sub>50</sub> >5,000mg/kg
	経皮	ラット(♂♀)	LD <sub>50</sub> >2,000mg/kg
	皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし
	眼に対する刺激性	ウサギ	刺激性なし
水産動植物に対する影響	コイ		LC <sub>50</sub> >1,000mg/L96hr
	オオミジンコ		EC <sub>50</sub> 886mg/L (48hr)
	藻類(緑藻)		ErC <sub>50</sub> 170mg/L0-72hr

**効果・薬害等の注意事項**

- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用前に容器をよく振ってください。
- 一年生イネ科雑草の発生前に有効なので、時期を失しないように均一に散布してください。
- 広葉雑草には効果が劣るので、広葉雑草の優占する芝生では、これに有効な剤との組合せで使用してください。
- 十分に活着した日本芝に使用してください。
- 寒冷地型芝生には、使用しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

**安全使用上の注意事項**

- 散布時は、農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用してください。
  - 作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして、衣服を換えてください。
  - かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意してください。
  - 火災時は、適切な保護具を着用し消火剤等で消火に努めてください。
  - 漏出時は、保護具を着用し、布・砂等に吸収させて回収してください。
  - 移送取り扱いは、ていねいに行ってください。
  - 飲めません。
  - 有効年月日内に使用してください。
  - 体調の悪いとき、妊娠中、飲食後等は取り扱い及び作業をしないでください。
- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。  
■ 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄液はタンクに入れてください。

**貯蔵上の注意事項**

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載内容以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



エンバイロサイエンスジャパン株式会社  
〒100-0004  
東京都千代田区大手町 1-6-1  
www.jp.envu.com



お問い合わせ先